



Global IP Business Exchange 2011 Autumn

IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース リチャーター

(財)インターネット協会
活動紹介

2011年11月29日
財団法人 インターネット協会

Agenda

- インターネット協会の紹介
- IPv6ディプロイメント委員会
- 活動内容
 - World IPv6 day
 - IPv6関連用語集 第二版

インターネット協会の紹介 1

■ 名 称

- 財団法人インターネット協会
(IAJapan: Internet Association Japan)

■ 設 立

- 平成13年(2001年)7月1日(財団法人として10周年)
- 前進、日本インターネット協会は1993年に創設

■ 主務官庁

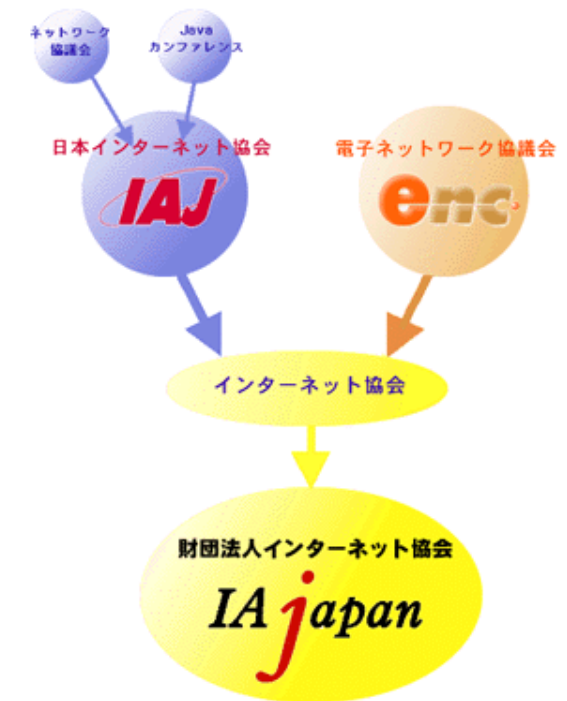
- 総務省、経済産業省

■ 目 的

- 「インターネット上に未来社会を築く」
インターネットの発展を推進することにより、高度情報化社会の形成を図り、我が国の経済社会の発展と国民生活の向上に資することを目的とする

■ 活動内容

- これまで日本インターネット協会(IAJ)と電子ネットワーク協議会(ENC)で行ってきた活動を、新協会に引継ぎ、さらに充実した活動を実施



■ 主な活動

- インターネット最新技術および最新動向に関する各種セミナー開催
フィルタリングの普及啓発およびレイティングシステムの構築運用
各種部会活動
- インターネットルール & マナー検定の実施およびインターネット利用
アドバイザーの育成
- インターネット関連技術の開発と実証
- インターネット関連技術の標準化推進
- インターネット動向調査
- インターネットホットライン連絡協議会の事務局業務
- インターネット・ホットラインセンターの運営
- W3C、IETF、ISOC、ICANN、INHOPE、APIA、APNGなどの
国際組織との協働および国際連携など

インターネット協会の紹介 3

■ 主活動として3つの部会と4つの委員会を設置

■ 委員会

- IPv6ディプロイメント委員会
- 迷惑メール対策委員会
- 国際活動委員会
- インターネット基盤検討委員会

■ 研究部会

- セキュリティ研究部会
- Java 研究部会
- Net-Cast研究部会

IAjapan Review

- インターネット協会が年4回発行しているニュースレター
- 直近のIPv6関連記事

- Vol.10 No.3 (2010年12月)

- ▶ IPv6 Summit 2010 開催報告
 - ▶ ~IPv4アドレスのIANA在庫が残り5%未満へ。IPv6対応の行方は?~

- Vol.10 No.4 (2011年3月)

- ▶ IPv6 Summit in KANAZAWA 2011開催報告
 - ~IPv6普及元年、新たなステージに!~

- Vol.11 No.1 (2011年6月)

- ▶ Global IP Business Exchange 2011参加レポート

- Vol.11 No.2 (2011年9月)

- ▶ World IPv6 Day 開催報告
- ▶ OSS 2011 Hokkaido Java研究部会セミナーレポート
 - ▶ ~IPv6対応アプリケーション開発なんてこわくない~

- Vol.11 No.3 (2011年12月)

- ▶ CEATEC JAPAN 2011セッションレポート
 - ▶ ~いよいよ実サービス段階に入るIPv6~
- ▶ スマートハウス構築のための要素技術と今後の展望



IPv6ディプロイメント委員会 概要

■ 発足

- 2001年4月

■ 目的

- IPv6の促進を図り、同技術を一般に普及させるための活動を行うとともに、同技術の健全な育成・振興、国際連携やアジアへの啓発活動など

■ 対象

- IPv6を導入しているまたは導入を予定している企業を対象

■ 活動内容

- 委員会の開催を中心として、セミナー開催や研究会の開催、APNIC Policy Meetingへの参加、APRICOTへの参加などを行いながら、IAJapan Review(インターネット協会機関紙)などで、その活動の報告を行う

■ 組織構成

- 計43名

2011年度メンバー

■ 委員長

■ 細谷 僚一 インターネットマルチフィード株式会社 代表取締役副社長

■ 副委員長

■ 村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部教授

■ 高橋 徹 財団法人インターネット協会 顧問

■ 議長

■ 藤崎 智宏 NTT情報流通プラットフォーム研究所

■ 副議長

■ 新 善文 アラクサラネットワークス株式会社

■ 中川 あきら 日本インターネットエクスチェンジ株式会社

■ 委員

■ 37名

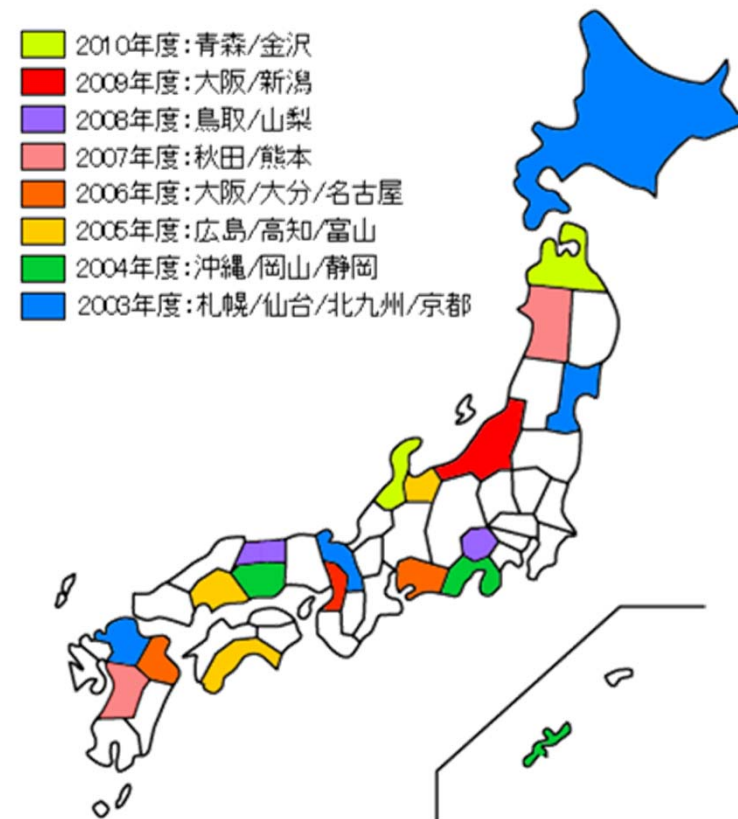
活動内容-1：セミナー開催

IPv6 Technical Summit

- 技術的な観点から新しい利用分野を紹介しながら、IPv6に携わる多くの方にとっての問題解決、意見交換の場となるプログラムを提供
- 2001年から2010年10月

IPv6地域サミット

- 地域の情報化にIPv6が役立つと考え、地域の医療、遠隔教育など利活用を焦点に実施
- 2003年から2011年1月
 - ▶ (21回20地域)



■ IPv6普及度測定

- <http://v6metric.jp/index.html>

■ IPv6用語集

■ IPv6 普及・高度化推進協議会への協力

- IPv6導入に起因する問題検討SWG(IPv6Fix)
- IPv6対応セキュリティガイドライン

World IPv6 day

World IPv6 day

■ World IPv6 Dayとは

- WebサイトをIPv6対応して各種影響を探る試み。
- 2011年6月8日0時UTC(日本時間で午前9時)から24時間で実施された
- ISOC(Internet Society)を中心に世界500サイトが参加した。

■ IajapanとWorld IPv6 Day

- インターネット協会、IPv6普及・高度化推進協議会、WIDEプロジェクト、ISOC日本支部(活性化中)とW6D日本事務局を発足、運営にあたった。

■ アンケート

- W6D日本事務局から参加者や業界関係者に呼び掛けて実施しました。

アンケートや総括

■ IAJapanの情報ページで公開

■ アンケート回答と結果の公開

■ http://www.iajapan.org/ipv6/about_w6d.html



The screenshot shows a web browser window with the URL www.iajapan.org/ipv6/about_w6d.html. The page title is "World IPv6 Day に向けた情報リスト". The main content area is divided into several sections:

- W6DとIPv6ディプロイメント委員会**
インターネット協会では、World IPv6 Day (以下、「W6D」)の開催趣旨に賛同し、日本国内での参加のプロモーション、問い合わせ窓口の提供、関連情報の提供等の支援を行っています。
- 参加者アンケート NEW**
6月8日に世界規模で行われた「World IPv6 day」は、無事、成功裡に終わることが出来ました。この経験を今後につなぐため、アンケートを行っております。是非とも、ご協力をお願いします。
 - アンケート (survey)
 - ▶ アンケート結果(2011年)  (1,484KB)
- W6D公式サイト**
参加呼びかけ、参加者リスト、既にIPv6に対応しているサイトリスト、その他の有益な情報が公開されています。
 - ISOC W6Dサイト (英語)
 - 日本におけるW6Dサイト (日本語)
- 日本での取り組み**
IPv6普及・高度化推進協議会、ISOC日本支部(再活性化中)、WIDE project、ならびにIPv6ディプロイメント委員会連名で、参加呼びかけを行いました。

On the left side of the page, there is a sidebar with a navigation menu and a "JOIN THE TEST FLIGHT JUNE 8" badge.



The image shows the "IA *j*apan" logo at the top left. In the center is a large blue circular logo for "WORLD IPv6 DAY" featuring a globe. To the right of the logo, the text "World IPv6 Day 参加者調査結果" is displayed. At the bottom right, the date "2011年10月17日" and the organization "財団法人 インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会" are listed. A small copyright notice "Copyright © 2011 Internet Association Japan all rights reserved." is visible at the bottom left of the image area.

- 参加者は、産官学に渡っており広報先は妥当
- 早めの告知、情報提供が必要だった
- コンテンツ実験のためには、適度なクライアント配備もしくはテストクライアント準備が必要だった
- アクセス解析方法など実験効果を共有するための仕組み作りも必要だった
- 組織内でIPv6対応する場合のポイントとして、承認取り付け・費用の確保・運用ノウハウを含む技術情報の取得があげられる
- ただし、コンテンツ提供サーバそのものよりもFirewallやDNSなど周辺機材の設定や確認に苦慮するケースが多い
- 技術的な課題のほかに、サービス展開のための課題解決（広告モデル、アクセス解析など）も必要である

IPv6用語集第2版

■ DL数は、昨今のIT書籍の第1刷数くらい

■ 参照RFC数 58

■ RFC2372～5966(2010/8)まで

■ Obsoleted, Updatedも含む

■ RFCの変遷や執筆背景等の知識がかなり必要

■ IPv6関連用語集について

■ http://www.iajapan.org/ipv6/about_glossary.html

	PDF版	CSV版
2011年 4月	255	73
2011年 5月	384	88
2011年 6月	176	81
2011年 7月	108	84
2011年 8月	87	61
2011年 9月	80	62
2011年10月	51	38
2011年11月	47	50
	1,188	537
		1,725

各種成果物にコメント随時募集

- どの成果物も、地味ながらもニーズがあることを感じている。
- しかし、外部からのコメントがあまりないのが気になる。
- 不備なところ、理解しにくいところ等を見つけたらコメントをいただきたい。



IA japan

財団法人インターネット協会

<http://www.iajapan.org>